

事務事業評価表(既存事業)

コード 12-3-2	事務事業名 特色ある学校推進事業の実施	所管部課 学校教育部指導課					
事務事業の概要	事務事業の目的 総合的な学習の時間は各学校の創意工夫に完全に任されているが、各小・中学校がこの授業を通して特色を十分に出せるよう、その教育環境を整え楽しく学べる環境づくりを図る。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学校教育の充実(創2-3) (主要施策)特色ある教育環境の整備					
	実施内容、実施方法 総合的な学習の時間で使用する教材費・図書等の活用。	根拠法令等 教育計画(教育プラン21)					
	事業開始時期 平成 14 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 学校実績数	活動指標の考え方(定義) 推進事業を活用した学校数					
	成果指標名 活用事業数	成果指標の考え方(定義) 推進事業として活用した事業数					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)	千円	8,555	9,202	8,559	8,391	
	国庫支出金						
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		8,555	9,202	8,559	8,391	
	所要人員(B)	人	0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	825	827	833	833	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	9,380	10,029	9,392	9,224	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(学校実績数)	千円	334.99	358.19	335.42		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	校	/	/	28	28
		実績値	校			28	28
活動指標	目標値		/	/			
	実績値						
成果指標	目標値	事業	/	/	360	420	
	実績値	事業			280	310	340
成果指標	目標値		/	/			
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	保護者からも各学校が創意工夫を生かした特色ある教育活動を一層展開できるように期待されている。					
	国・都・他市・民間等における類似事業	学習指導要領に基づくものであり、他市でも実施されている。					
	運営上の制約条件・外部要因等	特になし。					

コード 12-3-2	事務事業名 特色ある学校推進事業の実施	所管部課 学校教育部指導課
---------------	------------------------	------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	目標にほぼ達成している。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	児童一人一人の個性を生かす教育を行うためにも必要である。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	限られた財源を有効に活用し、28校のうち全校活用している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	児童・生徒の利便性に配慮した。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現状水準で事業を実施していく。

17年度における改善点	特になし。
-------------	-------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。